



2022年4月1日

第128号お知らせ版

NPO法人 響き合いネットワーク東京 SP の会

NPO Resonate Network Tokyo SP

○3月1日(火)と2日(水)の都立広尾看護専門学校からの依頼は中止でした。

○3月5日(土)中野事務所で9:30から消防設備点検があり神永教子と貞信が対応しました。
13:30から17:00まで会計部会を開催しました。

参加者は佐藤・近藤・金巻・神永教子・神永貞信の5名です。

○3月13日(日)13:00から中野事務所で、19日に開催されます「暫定認定標準模擬患者 OSCE 形式パフォーマンス評価、(標準模擬患者のための評価機構研修会)」7名が参加しました。

佐藤峯雄さん・田澤靖子さん・神永貞信・石井政幸さん・近藤久恵さん・金巻敦子さん・浅岡淳子さんの7名で、引率者として神永教子も同行しました。



研修会は撮影できませんのでSPの待合室の様子をお知らせいたします。最後の詰めをしている田澤さん研修会とのことで参加したのですがテストもあり、話が違くと参加者からいろいろ意見が出ました。そして、「落ちたわ」とのことでした。SPの質の均一化はとても大切ですが、評価機構の言う、「標準化」は何を基準にしているのかよくわかりません。皆様のご意見をお待ちしています。

○3月30日(水) 会計監査を中野事務所で行いました。真っ赤に付箋を貼られたけれど、何とか監査を終わることができました。平日のため会計担当者は参加できませんでした。

○3月は施設からの依頼がありませんでしたが、会計監査のために書類の点検や理事会の準備等事務局は自宅での作業がたくさんありました。

○4月からの行動表です。お時間のあるかたはお知らせください。

令和4年度活動予定表

4月					
4月29日(金)	13:30-15:00	理事会 中野事務所			神永教子・田澤靖子・佐藤峯雄・森トシ・三上操・小林滋男 城川知子・
4月21日(木)	10:00-12:30	関東学院大学	4		教子・貞信・村上・田澤
5月 5月12日	10:00-12:30	関東学院大学	4		教子・貞信・村上・田澤
6月					
6月1日(水)	9:30-16:30	相模原看護専 門学校	男性 10名	81	貞信・村上・小林・石井・佐藤・三上・宮竹・田澤・教子・ 浅岡
6月2日(木)	9:00-12:00	関東学院大学	2		貞信・村上
6月14日	13:00	東京医療保健 大学	10		身体接触有浅岡・教子・貞信・村上・石井・田澤・鈴木節 小林・森トシ 1名足りません。
6月15日	13:00	東京医療保健 大学	10名		身体接触有浅岡・教子・貞信・村上・石井・田澤・鈴木節 小林・2名足りません
6月28日	16:20-17:50	東京医療保健	3名		鈴木節・小林 1名足りません
7月					
7月16日		女子医大	30名	-	鈴木節・教子・貞信・浅岡・村上・石井・田澤・小林・
		22名不足	-	-	
8月					
8月27日		聖マリ			鈴木節・教子・貞信・浅岡・石井・田澤・小林・
8月28日		聖マリ			鈴木節・教子・貞信・浅岡・石井・田澤・小林・
9月					
2022/9/11(日)		群馬大学	OSCE 本試 11名		鈴木・教子・貞信・浅岡・石井・小林・村上 4名足りません
2022/9/21(水)	12:00-18:00	聖マリ	12-16名	118	鈴木・教子・貞信・浅岡・石井・村上・田澤 6-8 足りません
2022/9/22(木)		群馬大学	追試		鈴木・小林
10月					
10/3(日)		群馬大学	再試		鈴木・村上・田澤・鳴島
10/8(土)	11:30-18:00	聖マリ		116	(12-14名) 鈴木節・教子・貞信・浅岡・石井・村上・田澤
2022/10/12(水)	10:00-12:00	教育棟昭和大学	4		各4名ズームです村上・田澤・鳴島・石井
2022/10/17(月)	10:00-12:00	教育棟昭和大学	4		各4名ズームです村上・田澤・鳴島・鈴木
2022/10/20(木)	10:00-12:00	教育棟昭和大学	4		各4名ズームです鈴木・村上・田澤・鳴島・予備小林
2022/10/20(木)	13-16	昭和大学医科部高齢者医療 コミュニケーション			浅岡・教子・貞信・石井・小林
11月					

2022/11/5(土)		聖マリ SP6 名		118 名	10/8 中止の場合 石井・浅岡・教子・貞信・田澤・鈴木・
11/12(土)		群馬大学			鈴木・小林
2022/11/22(火)	13:30-16:00	神奈川歯科大		120 名	10 名教子・貞信・鈴木・石井
11/30(水)	13:00-17:30	富士吉田校			10 名小林・鈴木・村上・鳴島・浅岡・ 教子・貞信・石井 2 名不足
12 月					
12 月 10 日		群馬大学			鈴木・小林
令和 5 年 2 月 -3 月		栃木県立衛生 福祉大学校		20 名	2 学年教子・村上

○佐伯さん、退院して元気になりました。

○鈴木節子さん左手骨折ですが痛みはないそうです。元気で中野事務所での監査に来ていただきました。

○近藤さん検査入院の予定とのことです。

○浅岡さんも入院の予定とのことです。

○城川さん腰痛が薬なしでも大丈夫とのことです。

コロナがまたまた蔓延していますので「手洗い」「うがい」はしっかりしてください。



4 月の花です。

文責神永教子

＜戦禍の影 暮らしにも＞停戦への願い 引き揚げ者語る

03/21 11:46 更新



ロシアによるウクライナ侵攻は、特に幼少期を樺太や旧満州（現中国東北地方）で過ごし、道内に引き揚げた体験のある高齢者にも深い悲しみを与えている。祖国を離れ、逃避行を続けるウクライナの人々の姿は、かつての自分と重なるためだ。話を聞いた3人はいずれも、戦争が一日も早く終わる日を願っている。

■子供の犠牲信じられず 苫小牧 カウンセラー・西沢乗子さん

苫小牧市の元短大講師でカウンセラーの西沢乗子（のりこ）さん（85）は、新聞やテレビでウクライナ関連のニュースに接するたび、恐怖を覚えるという。

西沢さんは、旧国鉄の技師だった父の勤め先、樺太・豊原（ユジノサハリンスク）で生まれ育った。平穏な日常は1945年（昭和20年）8月9日、ソ連（現ロシア）の対日参戦で一変した。「ソ連に領土を取られる」との一報が入り、家を急ぎよ、離れることになった。母親が思い出の品をまとめる時間はほとんどなく、西沢さんはお気に入りの人形を1体だけリュックに詰めたという。

母ときょうだい4人は、豊原から大泊（コルサコフ）港を経て稚内から母の実家がある小樽へ難なく避難できた。しかし、着の身着のまま追われるウクライナの人々の姿を見ると、当時のことが思い出されるといふ。「破壊された家から逃げる姿は見るに堪えません。無事に逃げてと願わずにはられません」

樺太に残った父との再会は約2カ月後だった。父は生前、日本人が樺太を南下して山中を逃げる時の様子を語っていた。「捨てられた乳飲み子や丸くなって亡くなっていた親子などを目撃したそうです。戦時下のむごさ、悲惨さを思い知らされました」

西沢さんは、命の大切さを子供に訴える講演活動を行い、道内各地を訪れた。「赤ちゃん、子供まで犠牲になっているウクライナの現実はとても信じられません。一日も早くこの忌まわしい戦争が休戦になることを祈るばかりです」

■侵攻目にし揺らぐ感情 芦別 元炭鉱労働者・坂本秀俊さん

父親と同じ炭鉱労働者だった芦別市の坂本秀俊さん(87)も樺太で育った。終戦後の約2年間、豊原に近いまちにとどまった。日本人が引き揚げた空き家にはロシア人が移り住み、交流もあったという。

ある日、隣りに住むロシア人若夫婦の家が焼失。見かねた父親が8カ月間、その若夫婦を家に招き、生活してもらったという。

坂本さんは、親しくなった若夫婦からロシア語も教わった。引き揚げ後もロシア関連の本を読むなど関心を持ち続けた。若いころはロシア人船員らが乗降する留萌や稚内の港を訪ね、おしゃべりをするのも楽しみだった。「ロシア語が妙に懐かしかった」と振り返る。

しかし、ウクライナ侵攻を目にし、ロシアに抱く感情に今、揺らぎが生じている。「とにかく悲しい。非常に残念です。ロシアは戦争を即刻止めないと、世界の中で孤立してしまう。取り返しの付かないことになってしまう。早く撤収してほしい」。毎日、祈るような心境でいる。

■外交の力で戦争止めて 札幌 医師・土田穰さん

札幌市中央区の医師、土田穰(みのる)さん(84)は小学生のころ、旧満州のハルビンで暮らした。戦争の足音が近づくと学校は閉鎖され、自宅アパートそばの防空壕(ごう)で過ごす日が多かった。45年8月にソ連軍が旧満州に侵攻すると、住まいを転々とせざるを得なかった。自宅には自決用の青酸カリがあったという。当時、捕虜になるなら「死を選べ」とされる時代だった。「戦争は本当に恐ろしいもの。今回、ウクライナに戦争を仕掛けたロシアが非難されるのは当然で、言語道断です」と訴える。

土田さんは1960年代、国際機関の赤十字国際委員会の要請で、民族間の対立があった西アフリカのナイジェリアに赴いた。避難民の緊急医療に携わった経験もあるだけに、「人を傷つけ、血を流す戦争はもう見たくない。世界は外交の力を駆使し、ロシアの戦争を止めてほしい」と語る。(編集委員 升田一憲)